

平成30年度

施政方針



武蔵野市長
松下 玲子

子ども子育て応援宣言のまちへ

社会全体で子育て家庭を支え、子どもを産み、育てやすい環境づくりを進め、子どもの最善の利益を保障し、子ども子育て応援宣言のまちへと歩みを進めてまいります。

平成30年度(2018年度)は、認可保育所3園および認証保育所2園の新規整備により定員拡充を行います。

また、私立幼稚園入園料補助金の増額を行ってまいります。

出生数の増加とともに、児童・生徒数も増加しています。新たな教育課題への対応および小中一貫教育の検討内容を踏まえ、計画的な施設整備

備を行うために、学校施設整備基本方針に基づいた具体的な整備計画を策定します。

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまち

地域リハビリテーションの理念に基づき、各計画に掲げられた目標や重点的取り組みを着実に実行し、「誰もがいきいきと安心して住み続けられる支え合いのまち」の実現を目指します。

超高齢化社会に向け、まちぐるみで支え合う仕組みづくりを一層推進してまいります。

個性ががやく活力あるまち

市内産業の現状を把握した上で、平成31年度(2019年度)の産業振興計画改定に向けて策定委員会を設置し、具体的な産業振興策を検討してまいります。

脱原発、緑あふれるまち

東日本大震災から7年となります。ひとたび事故が起きた時の被害の甚大さに鑑みても、原発に頼らない社会を実現しなければなりません。

クリーンセンターのごみ発電による夜間電力を最大限活用し、地域における二酸化炭素排出量を削減するため、エネルギー地産地消最適化の検討を行います。

市民の共有財産である緑や自然環境を未来へつなぐため、緑と水のネットワーク事業を進めてまいります。

より進んだ市民参加に挑戦するまち

市政運営の基本姿勢として位置付ける「対話」を実践する場として、「市民と市長のふれあいトーク」を新たに展開し、率直な意見やさまざまな提案を今後の市政運営に活かしてまいります。

さらなる市民自治の推進と、豊かで多様性のある「市民力」がしっかりと活かされるよう、市民参加や市政運営に関する基本的なルールである自治基本条例(仮称)について、議会基本条例との調整を十分に行いながら、条例化に向け取り組みを進めてまいります。

歩いて楽しいまち、安全なまち

市内三駅を中心として広がるまちの個性を活かし、それぞれの魅力

高めていくため、地域の特色に応じたまちづくりを進めます。また、振り込め詐欺などへの対策として、被害の未然防止も推進します。

平和と文化を創るまち

非核都市宣言自治体として、戦争も核兵器もない平和な世界を実現するため、市民の皆様とともに平和に向けた取り組みを続けてまいります。

文化を振興し、文化の波及効果を活かした地域の持続的な発展を目指すため、文化振興基本方針(仮称)を策定します。

健全財政を市民のために活かすまち

第五次行財政改革を推進するための基本方針及びアクションプランに基づき、事務事業の見直しや補助金の見直しなどを着実に行うとともに、中長期にわたる公共施設や都市基盤の再整備に向けた基金を確保し、市民福祉の向上や武蔵野市の持続的発展を図るよう取り組んでまいります。

(平成30年度施政方針並びに基本的施策より要約。予算案については、P.14 特集2へ)